

## 「部単位」で印刷する場合の設定方法

「CASIO SPEEDIA」シリーズでは、オプションのハードディスクを装着することにより、今までコンピュータ側で処理していた部単位の印刷を、コンピュータからのデータ出力時間を短縮することで、スプールサイズを小さくし、より高速な印刷を行うことができます。

ここでは、部単位で印刷する場合の設定方法について説明します。

《注意》対象機種：CASIO SPEEDIA N3500、CASIO SPEEDIA N3500-Y、CASIO SPEEDIA N3000  
CASIO SPEEDIA N6100、CASIO SPEEDIA N6000  
CASIO SPEEDIA N5300、CASIO SPEEDIA N5100、  
CASIO SPEEDIA N5II、CASIO SPEEDIA N5II-P、CASIO SPEEDIA N5、CASIO SPEEDIA N5-P  
CASIO SPEEDIA N4-614、CASIO SPEEDIA N4-614P  
CASIO SPEEDIA CP-E8500、CASIO SPEEDIA CP-E8500NW、CP-E8000

※設定手順は、WindowsXP を例に説明しています。

その他の OS をご利用の場合は、WindowsXP での手順を参考に行ってください。

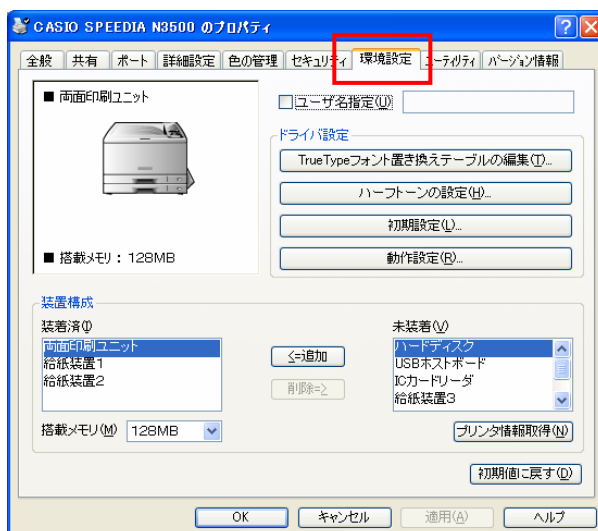
※プリンタは、「CASIO SPEEDIA N3500」を例に説明しています。

### I. プリンタドライバ側で環境設定を行います。

1. 「スタート」メニューから「プリンタとFAX」を選択し、プリンタフォルダを開きます。
2. 「CASIO SPEEDIA N3500」のプリンタドライバを右クリックし、「プロパティ」を選択します。  
「環境設定」タブをクリックします。

<注意>

この「環境設定」タブは、アプリケーション側からは表示されませんので、必ず各OSの「プロパティ」から開いて設定してください。



3. 「装置構成」の「未装着」の箇所より、「追加」ボタンをクリックし、「ハードディスク」を「装着済」に移動します。



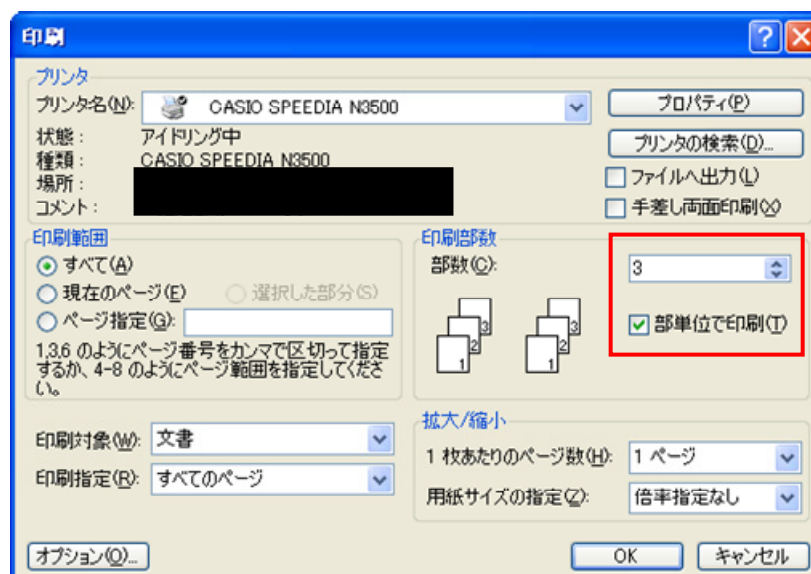
【適用】→【OK】をクリックします。

## II. 各アプリケーション側から印刷を行います。

### II-1. Microsoft Word2003 の場合

1. Word2003 より、「ファイル」→「印刷」をクリックします。

印刷画面より、部数の箇所に任意の数値を設定します。（下記では3部に設定しています。）  
「部単位で印刷」にチェックが入っていることを確認します。



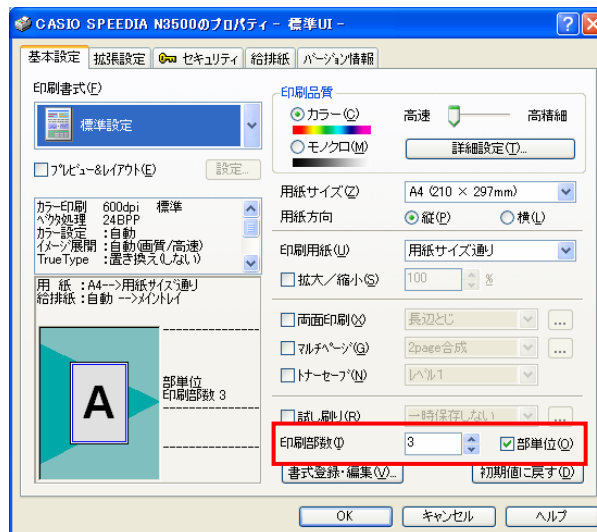
2. 【OK】をクリックし、印刷を行います。

## II - 2. Microsoft Excel2003 の場合

- Excel2003 より、「ファイル」→「印刷」をクリックします。  
プリンタ名で「CASIO SPEEDIA N3500」を選択し、【プロパティ】をクリックします。



- 下記のような「基本設定」タブの画面が起動します。  
「部単位」にチェックを入れ、「印刷部数」に任意の数値を設定します。  
(下記では3部に設定しています。)



【OK】をクリックします。

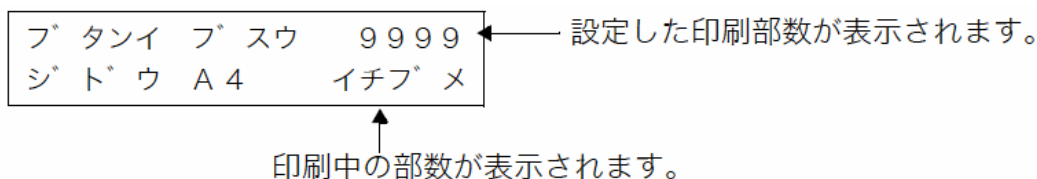
### <注意>

複数のシートを「部単位」で印刷する場合は、すべてのシートに対して、上記設定を行ってください。



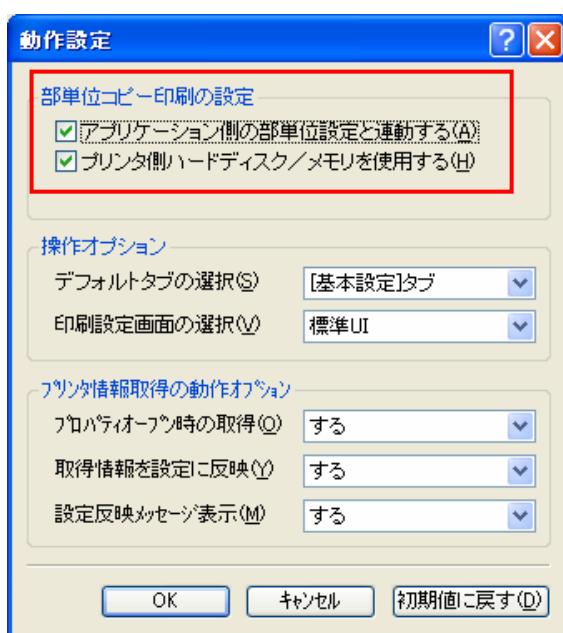
### Ⅲ. その他

1. 部単位で印刷中は、プリンタの表示パネルに次のようなメッセージが表示されます。



2. プリンタドライバ側の下記設定により、部単位の動作が異なりますので、ご注意ください。

- 「環境設定」タブ→「動作設定」→「部単位コピー印刷の設定」



- ・ アプリケーション側の部単位設定と連動する (初期値：チェックあり)

アプリケーション側に、このドライバが部単位コピー機能を持っていることを通知します。

一部のアプリケーションでは、ここにチェックをしておくことでアプリケーション側の「部単位」の設定がドライバ側と連動するようになるため、アプリケーション側だけの設定で、プリンタドライバ側の部単位コピー機能を有効にできるメリットがあります。

- ・ プリンタ側ハードディスク/メモリを使用する (初期値：チェックあり)

このチェックがない場合、コンピュータ側のハードディスクに一時的に一部分のデータを保存して、それを必要部数分だけ繰り返しプリンタに出力することで部単位印刷を実現します。

※プリンタドライバのバージョンにより、上記項目の初期値が異なっている場合があります。

その場合、上記項目にチェックをいれた状態で部単位印刷を行ってください。

3. モノクロで印刷する場合、ハードディスクが装着されていなくても、プリンタ側のメモリを使用して部単位印刷を行うことができます。
4. 印刷部数が1部の場合、部単位印刷は無効となります。